

## 大気質調査結果

## ■調査結果

測定期間

稼働前：平成29年5月27日（土）～平成29年6月9日（金）

稼働後：平成30年6月3日（日）～平成30年6月16日（土）

## 【二酸化硫黄】

測定地点	測定時期	有効測定日数	期間平均値	1時間値の最高値	日平均値の最高値	環境基準
単位	—	日	ppm	ppm	ppm	
多賀城市	稼働前	14	0.002	0.012	0.004	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。
	稼働後	14	0.001	0.008	0.002	
蒲生干潟付近	稼働前	14	0.002	0.010	0.004	
	稼働後	14	0.001	0.009	0.003	
七ヶ浜町	稼働前	14	0.005	0.019	0.009	
	稼働後	14	0.001	0.004	0.002	

## 【二酸化窒素】

測定地点	測定時期	有効測定日数	期間平均値	日平均値の最高値	環境基準
単位	—	日	ppm	ppm	
多賀城市	稼働前	14	0.008	0.016	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
	稼働後	14	0.009	0.019	
蒲生干潟付近	稼働前	14	0.007	0.013	
	稼働後	14	0.008	0.012	
七ヶ浜町	稼働前	14	0.005	0.011	
	稼働後	14	0.003	0.009	

## 【浮遊粒子状物質】

測定地点	測定時期	有効測定日数	期間平均値	1時間値の最高値	日平均値の最高値	環境基準
単位	—	日	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>	
多賀城市	稼働前	14	0.012	0.049	0.035	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。
	稼働後	14	0.019	0.048	0.029	
蒲生干潟付近	稼働前	14	0.020	0.055	0.041	
	稼働後	14	0.014	0.054	0.026	
七ヶ浜町	稼働前	14	0.013	0.052	0.034	
	稼働後	14	0.019	0.055	0.026	

## 【微小粒子状物質】

測定地点	測定時期	有効測定日数	期間平均値	日平均値の最高値	環境基準
単位	—	日	μg/m <sup>3</sup>	μg/m <sup>3</sup>	
多賀城市	稼働前	14	11.0	30.0	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること。
	稼働後	14	7.3	19.0	
蒲生干潟付近	稼働前	14	9.1	27.3	
	稼働後	14	8.3	17.2	
七ヶ浜町	稼働前	14	7.9	24.4	
	稼働後	14	4.9	8.7	

## ■稼働前後の評価

- 稼働後調査結果は、稼働前調査結果に比べ明らかな濃度上昇は認められず、環境基準を十分下回った値であった。
- 行政が公表している周辺測定局の大気環境測定結果において、期間平均値、日平均値の最高値及び1時間値の最高値は稼働前後で明確な差は認められなかった。
- 上記の状況から、仙台パワーステーション稼働後の直接的な影響は認められない結果となった。

大気質 重金属類調査結果

■調査結果

稼働前:

- 1回目 平成29年 5月 30日 (火) ~ 5月 31日 (水)
- 2回目 平成29年 5月 31日 (水) ~ 6月 1日 (木)
- 3回目 平成29年 6月 08日 (火) ~ 6月 07日 (水)

稼働後:

- 1回目 平成30年 6月 4日 (月) ~ 6月 5日 (火)
- 2回目 平成30年 6月 5日 (火) ~ 6月 6日 (水)
- 3回目 平成30年 6月 6日 (水) ~ 6月 7日 (木)

単位: ng/m<sup>3</sup>

測定項目	測定地点	測定時期	平均値	指針値*
水銀及びその化合物	多賀城市	稼働前	1.5	40
		稼働後	1.4	
	蒲生干潟付近	稼働前	2.0	
		稼働後	1.2	
	七ヶ浜町	稼働前	1.4	
		稼働後	1.3	
ニッケル化合物	多賀城市	稼働前	5.7	25
		稼働後	3.5	
	蒲生干潟付近	稼働前	5.5	
		稼働後	1.9	
	七ヶ浜町	稼働前	4.1	
		稼働後	1.9	
ヒ素及びその化合物	多賀城市	稼働前	3.9	6
		稼働後	0.69	
	蒲生干潟付近	稼働前	4.6	
		稼働後	0.98	
	七ヶ浜町	稼働前	4.4	
		稼働後	0.40	
バリリウム及びその化合物	多賀城市	稼働前	0.017	-
		稼働後	0.011	
	蒲生干潟付近	稼働前	0.036	
		稼働後	0.034	
	七ヶ浜町	稼働前	0.012	
		稼働後	0.012	
マンガン及びその化合物	多賀城市	稼働前	47	140
		稼働後	50	
	蒲生干潟付近	稼働前	75	
		稼働後	62	
	七ヶ浜町	稼働前	13	
		稼働後	10	
クロム及びその化合物	多賀城市	稼働前	8.0	-
		稼働後	9.2	
	蒲生干潟付近	稼働前	7.9	
		稼働後	4.2	
	七ヶ浜町	稼働前	2.0	
		稼働後	1.8	

\*環境省 中央環境審議会 環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値 (年平均)

■稼働前後の評価

- 稼働後調査結果は、稼働前調査結果と比べ同程度の値であり、指針値を十分下回った値であった。
- 行政が公表している周辺測定局の大気環境測定結果において、稼働前の最大値と比べて明確な増加は認められなかった。
- 上記の状況から、仙台パワーステーション稼働後の直接的な影響は認められない結果となった。